

君が望むなら、僕は君の元を去る。  
君が望むなら、僕は、君に触れたい。



巨匠エリック・ロメールが贈る、5世紀フランスの愛と官能

# 我が至上の愛

アストレとセラドン

*Les Amours d'Astrée et de Céladon*

監督・脚本: エリック・ロメール 『モード家の一夜』『O公爵夫人』『緑の光線』

キャスト: アンディー・ジレ、ステファニー・クレイヤンクール、セシル・カッセル、ジョスラン・キヴラン

2007年 | フランス・イタリクス・スペイン | フランス語 | 1時間49分 | 原題: Les Amours d'Astrée et de Céladon | 35mm | カラー | ドルビーデジタル  
協力: ユニフランス、フランス政府観光局 | 協賛: エールフランス航空 | 配給: アルンネテラン

Françoise Etchegaray, Jean-Michel Rey et Philippe Liégeois présentent

ERIC ROHMER LES AMOURS D'ASTREE ET DE CELADON AVEC ANDY GILLET・STÉPHANIE CRAYENCOUR  
ET CÉCILE CASSEL・VÉRONIQUE REYMOND・ROSEITE・JOCELYN QUIVRIN・RODOLPHE PAULY・MATHILDE MOSNIER ET SERGE RENKO

Image Diane BARATIER (AFC) Montage: Mary STEPHEN・Son Pascal RIBIER・Costumes Pierre-Jean LARROQUE・Musique Jean-Louis VALERO・Directeur de production Christian FAUMIER・Régie: Hubert RICHET  
Une coproduction entre la France, l'Italie et l'Espagne - Produit par C.E.R., Rezo Productions, Bin Distr. Barrose, Alta Production - Avec le soutien de Eurimages - En association avec Cofimage 3 - Cinéma - Arte / Cofimage 2 - Sofisticata 2  
avec la participation de Canal + et du Centre National de la Cinématographie - Ventes Internationales Rezo World Sales ©Pierre Collier 07

EURIMAGES

CANAL+

FRANCE 2

www.rezofilms.com

FRANCE 3

FRANCE 4

FRANCE 5

FRANCE 6

FRANCE 7

FRANCE 8

FRANCE 9

FRANCE 10

FRANCE 11

FRANCE 12

ほかの誰をも愛さぬ

我が愛が至上のものと言え

あなたの愛を、得ることができたかも知れぬ  
だが 私はほかの女性が見せる

愛に満ちた目を称えるふりをした  
あなたの目を愛していたのに

なんというウソをついたのか

仕方がないとはいえ万死に値するものだ

すぐにでも死なせてほしい

エリック・ロメールの最新作は芸術と人生の叙情詩だ。

ル・モンド紙

心から愛する人に誤解され、別れを告げられたら……

身を引くのが愛なのか？それとも身の潔白を晴らすまで説得するのが真実の愛なのか？この普遍的かつ永遠の「愛する」というテーマを、フランス映画界の巨匠エリック・ロメールが、彼ならではのユーモアと官能を織り交ぜて描いた『我が至上の愛～アストレとセラドン～』。時の流れを忘れるような緩やかで軽やかなリズムで綴られる、若い恋人たちの瑞々しくひたむきなこの愛の物語は、観る者に人を愛することの喜びを感じさせてくれる。

原作は、17世紀文学サロン、特にパリの貴婦人たちの間で大流行した小説『アストレ』。5世紀のローマ時代へ誘うかのような壮大な自然を舞台に、ニンフや城、高貴なフランス語と優雅な衣装が彩りを加え、ゆったりと物語は進んでいく。

「私はこの映画のあと、現役を引退するつもりだ。映画学生向けの短編を製作する計画はあるが、もう長編を撮影するつもりはない。87歳(インタビュー当時)という高齢もあり、映画演出、撮影に大変な困難を感じている。」

ヌーヴェルヴァーグを代表する監督エリック・ロメールは、2007年にフランスで行われたインタビューでこのようにコメントした。

エリック・ロメール監督の熟達した演出とフレッシュな俳優陣で飾られた5世紀の究極の純愛物語が、時空を越えて現代に甦る—

【ヌーヴェルヴァーグ・Nouvelle Vagueとは？】

1950年代末からフランスで起こった映画運動。「新しい波」を意味するフランス語。撮影所(映画制作会社)における助監督等の下積み経験無しにデビューした若い監督達による、ロケ撮影中心、同時録音、即興演出などの手法的な共通性のある一連の作家・作品。エリック・ロメールの他に代表的な監督は、ジャン＝リュック・ゴダール、フランソワ・トリュフォーなど

### 物語

ローマ時代—純粋な愛を育んでいた羊飼いのアストレとセラドン。しかしアストレは、セラドンが浮気をしたと疑い、「私の前にもう二度と現れないで欲しい」と拒絶する。絶望したセラドンは入水自殺を図るが、ニンフ(精霊)に助けられ、死を逃れていた—。その端麗なる容姿からマダムに気に入られ、村へ戻ることを許されないセラドン。彼を兄のように慕うレオニードの計らいでマダムの城から脱出するが、アストレの「二度と現れないで欲しい」という言葉を忠実に守り、彼は村には戻らずに森で暮らし始める。そんなセラドンを不憫に思ったレオニードとドルイド僧が、アストレに会う機会を彼に与えようとするが—。

監督・脚本: エリック・ロメール 『モド家の一夜』『公爵夫人』『緑の光線』 キャスト: アンディー・ジレ、ステファニー・クレイヤンクール、セシル・カッセル、ジョスラン・キヴラン  
2007年 | フランス・イタリア・スペイン | フランス語 | 1時間49分 | 原題: Les Amours d'Astrée et de Céladon | 35mm | カラー | ドルビーデジタル | 字幕翻訳 寺尾次郎  
協力: ユニフランス、フランス政府観光局 | 協賛: エールフランス航空 | 配給: アルシネテラン | www.alcine-terran.com

## 1月17日(土)、伝説の純愛物語が現代に甦る—

### 特別鑑賞券発売中

※公開日前日までの販売  
※御観賞日の5日前から指定席券と  
お引き換え頂けます

### 【前売特典】

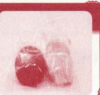
劇場窓口にてお買い上げの  
お客様に限り、大自然の香り  
サシェをプレゼント(限定数)

提供: フラゾ/株式会社グリーン/プロダクト/フランシニク

### 【初日来場者プレゼント】

初日初回ご来場者全員に、ラ・プレ  
ジューズのマドレーズとフィナンシェの  
セットをプレゼント

提供: ラ・プレジューズ



有楽町線銀座一丁目駅7番出口・銀座線京橋駅2番出口 下車2分

## 銀座テアトルシネマ

TEL: 03-3535-6000 全席指定・定員入替制

http://www.cinemabox.com/

9:30(土日祝水のみ) | 11:40 | 14:10 | 16:35 | 19:00

2月2日(月)以降の9:30の回の上映は  
直接劇場へお問い合わせください